



報道発表

平成30年2月23日
横浜税関

横浜税関における密輸摘発状況(平成29年)

大量の覚醒剤を相次いで摘発
過去最高の押収量を記録

1. 不正薬物

不正薬物^(*1)全体の摘発件数は364件(前年比19%減、全国の約5割)と依然として高水準で推移し、押収量^(*2)は約851kg(前年比約2倍、全国の約6割)と“過去最高”を記録

(*1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう

(*2) 錠剤型薬物を除いたもの

2. 覚醒剤

摘発件数は26件(前年比37%増、全国の約2割)、押収量は約843kg(前年比約2.7倍、全国の約7割)と大幅に増加し“過去最高の押収量”を記録

○2件の大口事犯を摘発

- ・東日本で洋上取引による事犯を初めて摘発
- ・商業貨物において、一度の押収量として過去最高となる事犯を摘発

○国際小包郵便物(川崎外郵)からの摘発件数は5件(前年比2.5倍)と大幅に増加

3. 国際郵便物(川崎外郵)からの摘発

摘発件数は357件であり、全国の国際郵便物における不正薬物摘発件数の約7割

○指定薬物から様々な薬物(覚醒剤、大麻、コカイン、MDMA)に拡大

○越境Eコマースを利用した手口が多発

4. その他

- ・茨城空港において偽造有価証券であるビール共通券を摘発
- ・偽造クレジットカードの密輸入事犯を告発
- ・金の摘発件数は17件(前年比3.4倍)、押収量は約65kg(前年比約4.5倍)と大幅に増加、過去最高

連絡・問合せ先

横浜税関 調査部

特別審理官(第1担当): 川合

TEL045-212-6080

横浜税関における密輸摘発状況（平成 29 年）

1. 不正薬物

不正薬物全体の摘発件数は 364 件（前年比 19%減、全国の 46%）と依然として高水準で推移し、押収量は約 851 kg（前年比約 2 倍、全国の 62%）と過去最高を記録した。



（注）その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
 なお、指定薬物は平成 27 年 4 月に「輸入してはならない貨物」に追加された。

2. 覚醒剤

覚醒剤事犯の摘発件数は 26 件（前年比 37%増、全国の 17%）、押収量は約 843kg（前年比約 2.7 倍、全国の 73%）といずれも大幅に増加しており、押収量は過去最高を記録した。

◎2 件の大口事犯を摘発

○東日本で洋上取引による事犯を初めて摘発

【事例 1】 瀬取りによる大量覚醒剤密輸事犯を摘発

平成 29 年 8 月、日本の東方沖の排他的経済水域内において、船籍不詳の船舶が日本国外で積載した覚醒剤約 475 kgを日本の漁船に積み替え、茨城県内の漁港に陸揚げした事犯を摘発した。



○商業貨物において、一度の押収量として過去最高となる事犯を摘発

【事例2】 海上コンテナ貨物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成 29 年 5 月、本牧埠頭出張所において、中国来の海上コンテナ貨物を検査したところ、猫用トイレの砂に偽装された覚醒剤約 351kgを発見・摘発した。

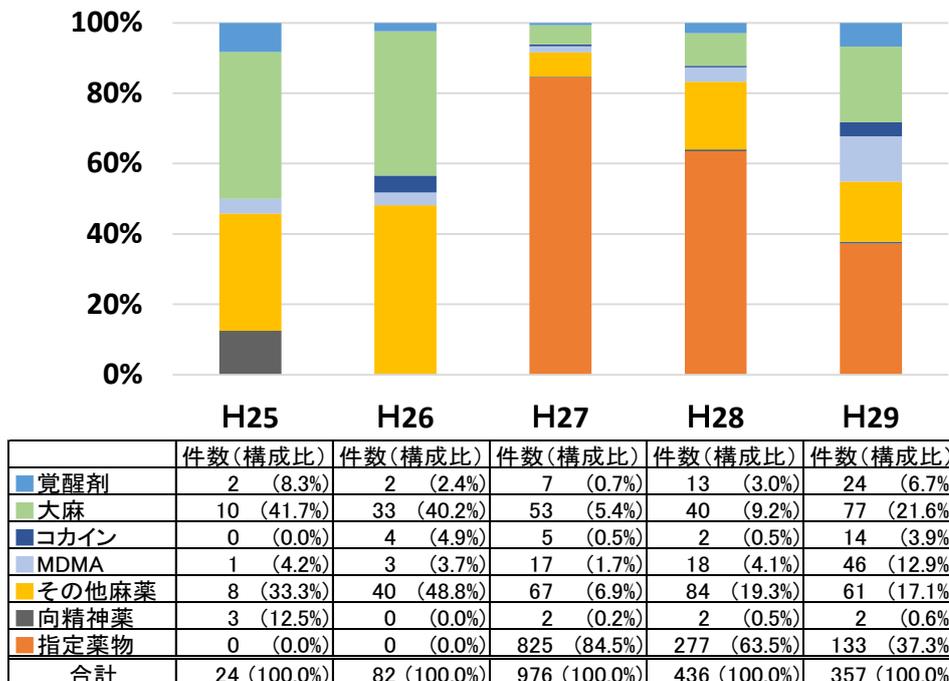


◎国際小包郵便物(川崎外郵)からの摘発件数は5件(前年比2.5倍)と大幅に増加

3. 国際郵便物(川崎外郵)からの摘発

摘発件数は357件であり、全国の国際郵便物における不正薬物摘発件数の68%を占めた。

川崎外郵における不正薬物の摘発件数



川崎外郵出張所における指定薬物の摘発は、平成 27 年をピークとして減少しているが、覚醒剤、大麻、コカイン、MDMAの摘発がいずれも増加しており、指定薬物から様々な薬物へ広がっている状況にある。

また、インターネットにより不正薬物を海外サイトに発注する、越境Eコマースを利用した手口が多発している。

(1)覚醒剤

摘発件数は 24 件（前年比 85%増）と大幅に増加、押収量は約 18kg（前年比 50%減）

【事例 1】国際郵便物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成 29 年 5 月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、覚醒剤 2.02g を発見・摘発した。



【事例 2】国際郵便物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成 29 年 7 月、カナダ及びドイツから到着した国際郵便物 3 通を検査したところ、覚醒剤 2.29g を発見・摘発した。



(2)大麻

摘発件数は 77 件（前年比 93%増）と大幅に増加、押収量は約 2.5kg（前年比 16%増）

【事例 3】国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

平成 28 年 12 月、フランスから到着した国際郵便物を検査したところ、大麻 3.88g を発見・摘発した。



【事例 4】国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

平成 29 年 7 月、英国から到着した国際郵便物を検査したところ、CD-R 2 枚を張り合わせた間に隠匿された大麻 140.4g を発見・摘発した。



(3) 麻薬

摘発件数は121件（前年比16%増）と増加、押収量は約1.3kg（前年比約3.8倍）

【事例5】国際郵便物に隠匿された麻薬及び向精神薬を摘発

平成29年6月から10月にかけて、ベルギー、オランダ、英国及びドイツから到着した国際郵便物を検査したところ、麻薬であるMDMA及びコカイン、麻薬である通称「2C-B」及び「LSD」並びに向精神薬を発見・摘発した。



【事例6】国際郵便物に隠匿された麻薬であるヘロイン及びMDMAを摘発

平成29年10月、英国から到着した国際郵便物を検査したところ、麻薬であるヘロイン0.98g及びMDMA6.99gを発見・摘発した。



(4) 指定薬物

摘発件数は133件（前年比52%減）、押収量は約3.3kg（前年比52%減）

【事例7】国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

平成27年10月から平成29年4月までの間に、英国及びスペインから到着した国際郵便物5通を検査したところ、指定薬物である通称「メチオプロパミン」、「MDAI」、「5-MeO-MIPT」、「3-メチルメトカチノン」及び「ペンテドロン」を発見・摘発した。



【事例8】国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

平成27年12月から平成29年7月までの間に、米国、ハンガリー、英国及びチェコから到着した国際郵便物8通を検査したところ、指定薬物である「亜硝酸イソブチルを含有する液状物」、「亜硝酸イソプロピルを含有する液状物」及び「亜硝酸イソペンチルを含有するろう状物」を発見・摘発した。



4. その他

【事例1】偽造有価証券の密輸入事犯

平成29年12月、中国から茨城空港に到着した航空機旅客の携帯品検査において、偽造有価証券（ビール共通券）1,639枚を発見・摘発した。



【事例2】偽造クレジットカードの密輸入事犯

平成29年6月、マレーシアから偽造クレジットカード2枚、偽造クレジットカードの原料となるべきカード1,125枚を密輸入しようとした日本人男性を関税法違反で告発した。



【事例3】金地金の密輸入事犯

平成29年1月、韓国から仙台空港に到着した航空機旅客の携帯品検査において、金地金3kgを発見・摘発した。



【資料1】社会悪物品の摘発実績（全国・横浜）

種類	年	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		前年比	
			横浜		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜
覚醒剤	件	154	3	174	5	83	10	104	19	151	26	145%	137%
	kg	859	241	549	45	422	172	1,501	316	1,159	843	77%	267%
大麻	件	66	11	99	35	122	59	118	43	171	80	145%	186%
	kg	13	1	74	6	34	19	9	3	130	3	14.9倍	99%
大麻草	件	52	11	52	17	58	28	81	34	115	49	142%	144%
	kg	12	1	35	5	29	18	6	1	117	2	20.0倍	188%
大麻樹脂	件	14	-	47	18	64	31	37	9	56	31	151%	344%
	kg	1	-	40	1	6	1	3	2	13	1	448%	54%
あへん	件	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	128	10	91	48	213	90	182	106	171	121	94%	114%
	kg	135	118	6	0	26	1	121	95	82	1	67%	1%
	千錠	17	2	2	2	1	0	1	1	2	2	224%	279%
ヘロイン	件	3	-	2	-	2	-	6	6	6	3	100%	50%
	kg	4	-	0	-	2	-	0	0	70	0	8082.4倍	19%
コカイン	件	10	1	10	4	8	5	12	4	24	14	200%	350%
	kg	127	118	2	0	18	0	119	95	10	1	8%	1%
MDMA等	件	6	1	5	3	23	17	27	18	49	46	181%	256%
	kg	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	16%	53%
	千錠	0	-	0	0	0	0	1	1	2	2	263%	282%
ケタミン	件	5	-	7	-	12	-	20	3	18	7	90%	233%
	kg	0	-	1	-	4	-	1	0	0	0	41%	56%
その他麻薬	件	104	8	67	39	168	68	117	75	74	51	63%	68%
	kg	1	0	3	0	2	0	1	0	1	0	198%	66%
	千錠	17	2	2	2	1	0	0	0	0	0	112%	229%
向精神薬	件	33	3	26	1	16	3	11	3	17	2	155%	67%
	kg	0	-	-	-	0	0	-	-	0	-	全増	-
	千錠	10	2	9	2	7	4	2	2	4	0	195%	5%
指定薬物	件	-	-	-	-	1,462	826	477	277	274	135	57%	49%
	kg	-	-	-	-	40	23	19	7	8	3	43%	48%
合計	件	382	27	390	89	1,896	988	892	448	784	364	88%	81%
	kg	1,007	359	630	52	522	215	1,650	421	1,379	851	84%	202%
	千錠	27	4	11	4	8	4	3	2	6	2	203%	79%
(参考)使用回数	万回	3,331	-	1,885	-	1,499	-	5,405	-	4,637	-	86%	-

銃 砲	件	4	-	3	-	5	1	4	1	7	1	175%	100%
	丁	6	-	4	-	5	1	4	1	19	2	475%	200%
うち拳銃	件	4	-	3	-	5	1	4	1	6	1	150%	100%
	丁	6	-	4	-	5	1	4	1	18	2	450%	200%
拳銃部品	件	-	-	2	-	-	-	-	-	3	2	全増	全増
	点	-	-	2	-	-	-	-	-	4	3	全増	全増

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
 2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
 3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計数量を示す。
 4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。
 5. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回流使用量をもとに換算し、合計したものである。
 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、あへん:0.3g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
 6. 端数処理のため数値が合わないことがある。
 7. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 8. 平成29年の数値は速報値である。

【資料2】密輸形態別摘発件数（全国・横浜）

形態別	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		前年比
		横浜		横浜		横浜		横浜	横浜		
航空機旅客等による密輸	135	0	171	1	107	1	176	1	214	1	100%
国際郵便物を利用した密輸	204	24	166	82	1734	981	640	437	526	359	82%
商業貨物等を利用した密輸	30	1	39	6	45	3	60	9	36	3	33%
航空貨物等	26	0	27	0	34	0	49	0	32	0	—
海上貨物等	4	1	12	6	11	3	11	9	4	3	33%
船員等による密輸	13	2	14	0	10	3	16	1	8	1	100%
合 計	382	27	390	89	1896	988	892	448	784	364	81%

（注）航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

【資料3】不正薬物の仕出国別摘発件数（横浜）

仕出国等	オランダ	米国	英国	スロベニア	台湾	スペイン	カナダ	チェコ	ドイツ	フランス	その他	合計
摘発件数（件）	98件	51件	38件	26件	25件	22件	20件	15件	9件	7件	53件	364件
（うち国際郵便物）	（97件）	（51件）	（38件）	（26件）	（25件）	（22件）	（20件）	（15件）	（9件）	（6件）	（50件）	（359件）
構成比（%）	26.9%	14.0%	10.4%	7.1%	6.9%	6.0%	5.5%	4.1%	2.5%	1.9%	14.6%	100.0%